

## 分科会報告④

1. コーディネイター 和合アヤ子

2. テーマ

### キャリアアップ

3. 参加者数 8名

宮城県 2名 山形県 6名 福島県 0名

4. ディスカッション内容

#### はじめに

初対面のためかちよつと緊張気味で始まりました。

最初に自己紹介と、なぜこのテーマを選ばれたのかを伺いました。分科会のメンバーは、現在企業に勤務され現役バリバリの方々、大学で教職を取られている方、職場を離れてからキャリアとスキルを積んできた経験を生かし地域貢献に起業されている方、主婦で子供さんを抱えながら起業され頑張っている方、大学院で学びながら将来に向けて自分探しをされている方でした。

職種、年齢は様々ですが多様なキャリアをお持ちのベテランの方々です。

皆さんから共通の話題として取り上げられたことは、

○まだまだ男性社会の中で女性がキャリアアップすることの大変さがある。

○パワハラ的対応を受けやすい。

○男性社会の中で女性は生きづらい。

○決定的発言が出来る立場に立つにはどのように対応したらよいか。

など、多くのことは男性社会の中で女性がキャリアアップするには大きな壁がありました。

女性がキャリアアップするには弊害あり、克服するには何かを話し合いました。

○企業の中でやり続けるには発言しやすい環境を自ら作り上げる。

○職務以外のことにも積極的に参加し、男性の不得意とするところをさりげなくフォローする。

継続していると認めてくれ意見を聞いていただけるようになる。

○相手に不害にならない言い方で話を伝える。

など、それぞれの立場から発言を頂きました。

#### まとめ

女性のキャリアアップには男性社会の大きな壁があることが話し合われましたが、大きな壁に穴を開けるには

○必要な業務能力や経験を高め、より高い地位を求めただけではなく、女性としてのコミュニケーション力を上手に発揮することがキャリアアップにつながる。

○キャリアもスキルも大事。どちらも高める必要があり、自分にできることを増やしていく広げるキャリアアップ、スキルレベルを高めていく深めるキャリアアップ。両輪を上手に使い社会の中で輝ける人生を送りましょう。

短時間ではありましたが本日の素敵な出会いに感謝いたします。ありがとうございました、